

安全・安心

高齢化対策

いつでも、いつまでも

2017-2020

Always しんしろまちなか

集える 笑える 楽しめる

しんしろ地域自治区

子育て支援

にぎわい

しん
ろ
地
域
計
画

目 次

第一部 地域計画策定の意義

- 1 はじめに－新城市の地域自治区制度の概要－ P 1
- 2 なぜ地域計画をつくるのか P 1
- 3 地域計画の対象範囲 P 2
- 4 地域計画の推進体制 P 3
- 5 地域計画の見直し P 3

第二部 新城地域自治区における課題整理

- 1 地域の現状 P 4
- 2 地域課題の抽出 P 10
- 3 地域課題の整理 P 21

第三部 計画

- 1 安全・安心 P 25
- 2 高齢化対策 P 27
- 3 子育て支援 P 28
- 4 にぎわい P 29

第一部 地域計画策定の意義

1 はじめに – 新城市の地域自治区制度の概要 –

近年、私たちの生活環境は大きく変化しています。携帯電話はスマートフォンが主流となり、必要な時に必要な情報をすぐに入手でき、また発信することもできる世の中になりました。一方で、各町内やご近所付き合いが希薄となり、自分の住むまちや人への関心度が低下し、お互いの顔が分からなくなっていることも事実です。また、全国的に少子高齢化や人口減少が問題となり、更に私たちが住む新城市のような地方部では、都市部への人口流出も大きな問題と言えます。これらは市全体で考えていくべき問題はあるものの、平成17年の市町村合併に伴い、新城市は愛知県内で2番目に広い自治体となったことにより、市内の地域それぞれが抱える困りごと（地域課題）が多様化し、一律的な解決策を見出すことが困難な状況となっています。そのような状況から、地域の声を市政に反映させるための仕組みとして平成25年度から「地域自治区制度」が始まりました。

「地域自治区制度」とは、それぞれの地域で異なる課題解決のため、市全体を10の地域自治区（地区）に分け、それぞれの地域自治区には、地域の課題解決のために協議する場、「地域協議会」が設置されています。地域協議会は地域の方が委員となり、「地域活動交付金事業」の審査や「地域自治区予算事業」の提案等について協議しています。

私たちの住むこの地域は「新城地域自治区」（新城小学校区）に区分されており、設置されている「新城地域協議会」において、これまで様々な事業を検討してきましたが、地域協議会の委員の皆さんは、その都度、地域のために何ができるのか、何をしなければいけないのか、苦悩しながら今日まで歩んできました。では、具体的に地域協議会の委員の皆さんは何に苦悩しているのでしょうか。

2 なぜ地域計画をつくるのか

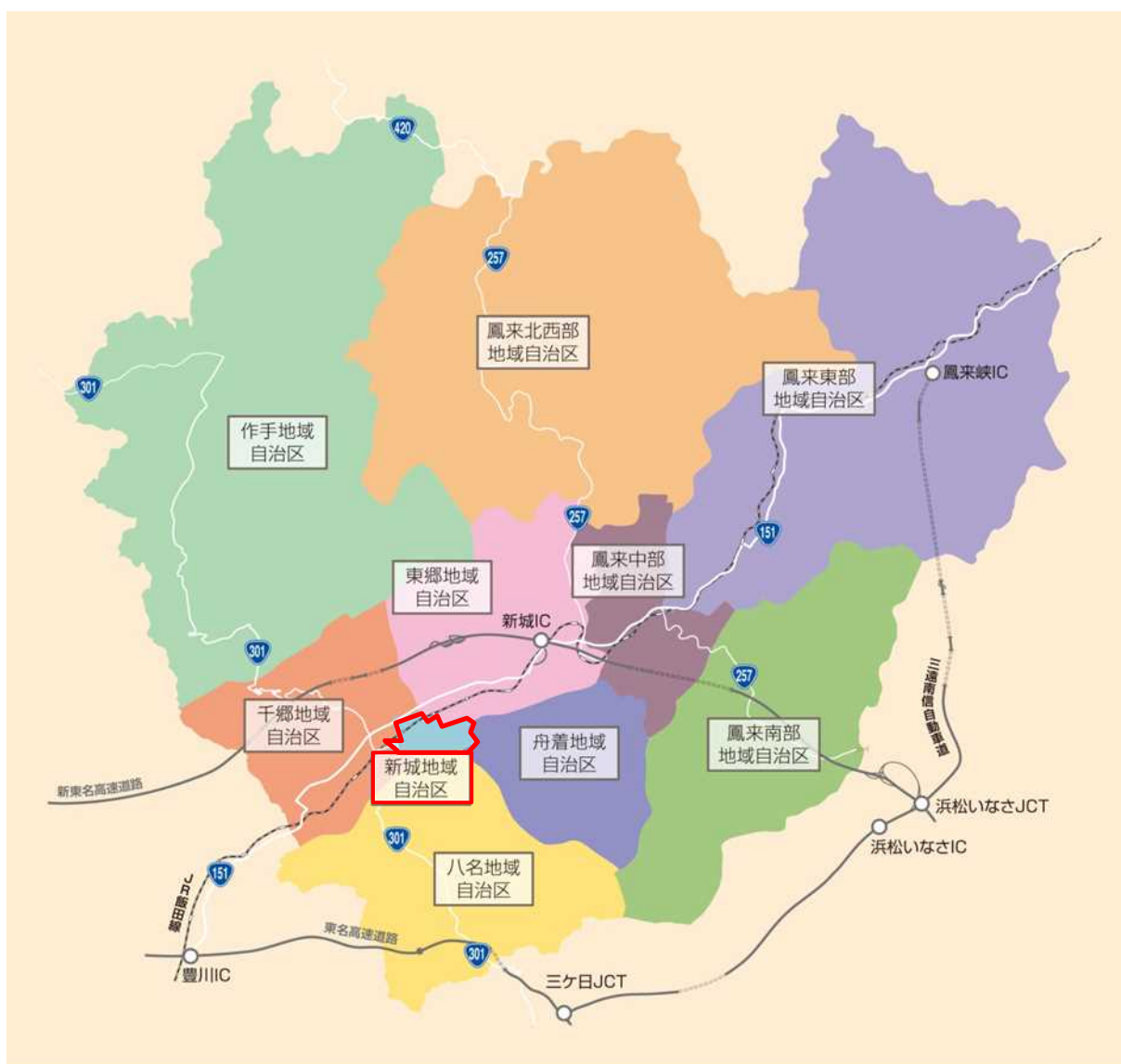
冒頭のとおり、私たちはこれまでに経験したことがない、少子高齢化・人口減少時代にあって、そこから派生した困りごとが増えています。毎年、地域活動交付金事業や地域自治区予算事業でも、そうした困りごとに対する事業提案がされますが、漠然とした将来不安から提案される事業、事業実施によって得られる成果が見えにくい、事業が解決すべき本質課題が見えないなど、それらの事業をどう評価すれば

いいのか判断しづらいため、地域協議会の委員さんは苦悩している状況です。

地域計画は、そういった見えないものを見えるようにする、言わば「地域の見える化」のため、具体的には、目的・目標・手段を明確にし、効率的かつ持続的な課題解決を図るために策定をします。策定した地域計画は、目指す地域の姿、地域の理想像を明確にし、地域に住む全ての皆さんの活動指標、地域協議会運営の判断指標となるとともに、地域の皆さんの思いを市政に届ける役割も果たします。

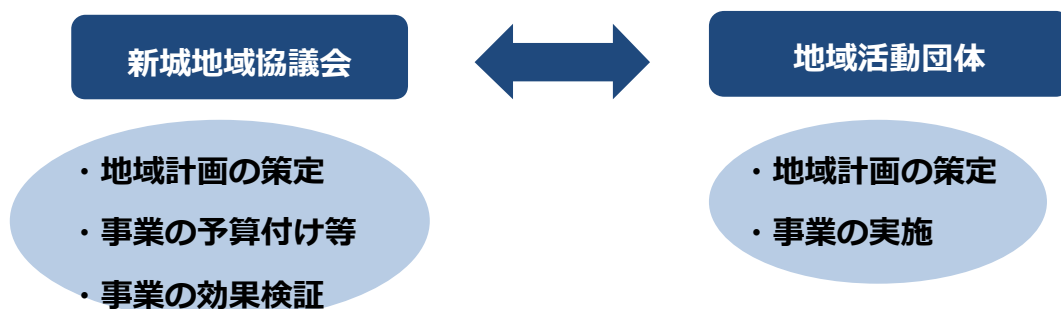
2 地域計画の対象区域

地域計画の対象範囲は、新城地域自治区（新城小学校区）とします。



3 地域計画の推進体制

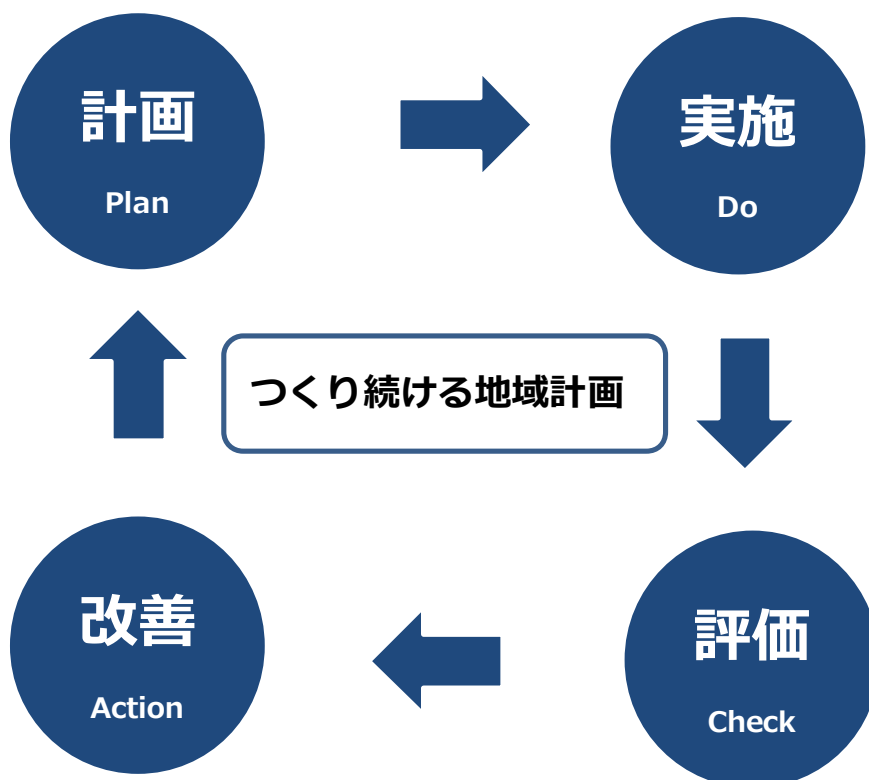
地域計画は、新城地域協議会に設置した地域計画分科会が主体となって策定します。しかし、委員の皆さんも専門家ではないため、地域の中でそれぞれの分野でご活躍をいただいている地域活動団体の方々と一緒に計画を策定します。地域活動団体は、計画策定を進める中で自ら事業実施を検討し、事業を具体化していき、その計画に沿って事業を実施することとなります。そして地域協議会はその事業を地域自治区予算等で担保し、計画を推進していく体制とします。



4 地域計画の見直し

地域計画は一度つくって終わりのものではありません。つくり続けます。

計画に基づき事業を実施し、その成果の検証を行った上で、課題や改善点を洗い出し、次の地域計画づくりに繋がります。



第二部 新城地域自治区における課題整理

1 地域の現状

(1) 行政区別の人口及び世帯数の推移

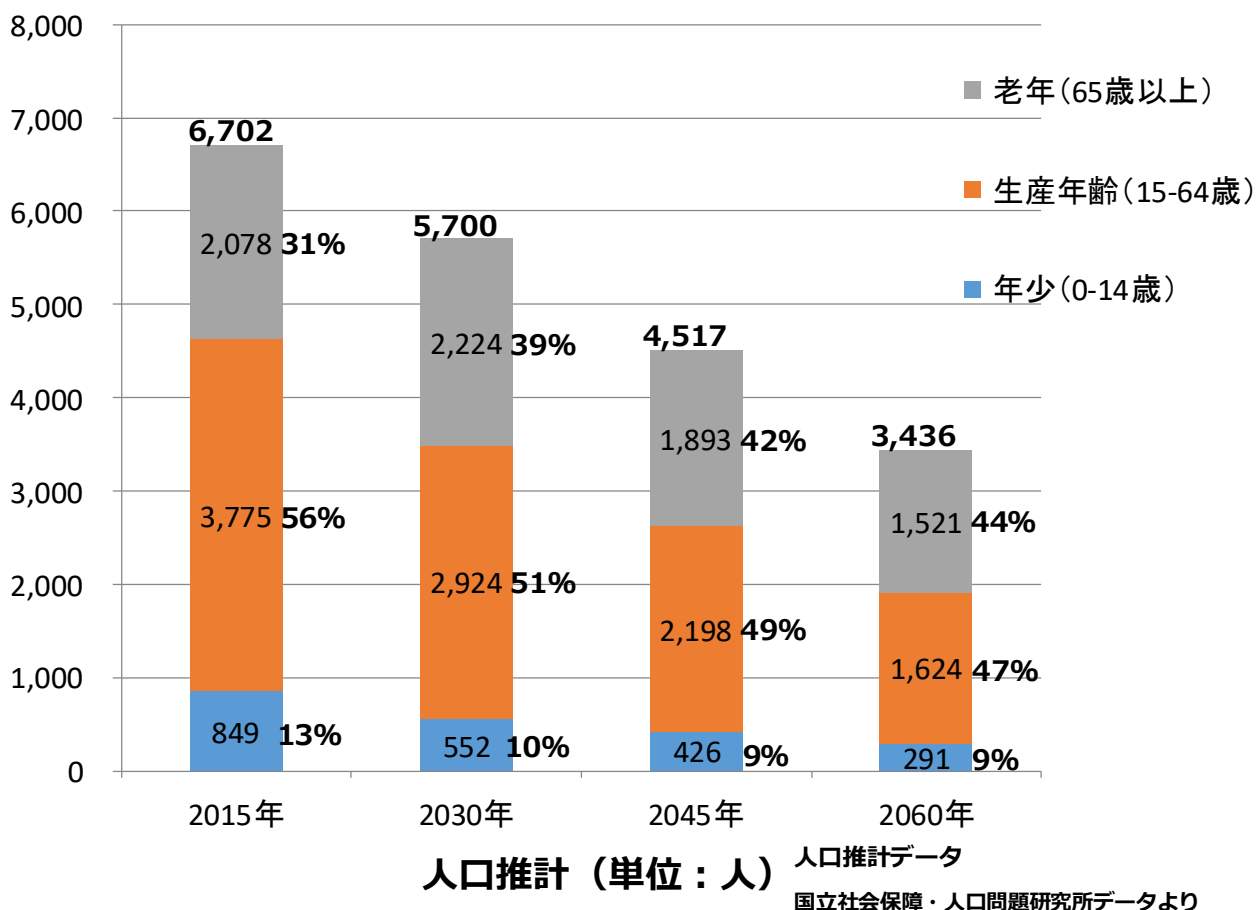
下表のとおり、この20年間で新城地域自治区内の人口は減少していますが、世帯数については増加しており、核家族化が進んでいると推測されます。

(平成7年～平成27年国勢調査結果 上段：人口、下段：世帯数)

| | H7 | H12 | H17 | H22 | H27 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 東新町 弁天 | 2,571人 | 2,794人 | 2,920人 | 2,949人 | 2,864人 |
| | 829世帯 | 950世帯 | 1,007世帯 | 1,046世帯 | 1,074世帯 |
| 西新町 | 222人 | 211人 | 189人 | 155人 | 126人 |
| | 63世帯 | 67世帯 | 67世帯 | 61世帯 | 55世帯 |
| 本町 | 1,309人 | 1,188人 | 1,115人 | 1,118人 | 1,115人 |
| | 404世帯 | 388世帯 | 403世帯 | 434世帯 | 456世帯 |
| 入船 | 759人 | 739人 | 762人 | 743人 | 683人 |
| | 239世帯 | 243世帯 | 266世帯 | 264世帯 | 257世帯 |
| 新城中町 | 397人 | 388人 | 332人 | 328人 | 275人 |
| | 115世帯 | 118世帯 | 113世帯 | 103世帯 | 98世帯 |
| 栄町 | 952人 | 870人 | 858人 | 778人 | 698人 |
| | 293世帯 | 282世帯 | 278世帯 | 271世帯 | 256世帯 |
| 橋向 | 725人 | 672人 | 611人 | 571人 | 530人 |
| | 196世帯 | 200世帯 | 190世帯 | 179世帯 | 181世帯 |
| 的場 | 602人 | 555人 | 527人 | 491人 | 465人 |
| | 192世帯 | 182世帯 | 183世帯 | 173世帯 | 167世帯 |
| 人口合計 | 7,537人 | 7,417人 | 7,314人 | 7,133人 | 6,756人 |
| 世帯合計 | 2,331世帯 | 2,430世帯 | 2,507世帯 | 2,531世帯 | 2,544世帯 |

(2) 将来の人口数

平成 27 年の国勢調査の結果を基にして、新城地域自治区内（新城小学校区）の 15 年ごとの将来人口数の推計値をグラフ化しました。



グラフより、この地域の人口は 15 年ごと約 1,000 人ずつ減少していくことが分かります。また、老年人口の割合は 2015 年時点で約 30%(3.3 人に 1 人)ですが、2030 年には約 40%(2.5 人に 1 人)に増加します。反対に生産年齢人口や年少人口の割合は徐々に減少していきます。現時点においても、後継者不足に悩む地域活動団体の声を聞きますが、今後更に厳しい状況になることは間違いありません。場合によっては存続できない団体も出てくるかもしれません。

そうならないために、わたしたちは改めて人口減少問題や少子高齢化問題と向き合い、わたしたちの子どもや孫の世代が元気にこの地域で暮らし続けられるように、今からその解決策を考えなければなりません。それはこの問題に気づいた私たちにしかできない、私たちの使命なのではないでしょうか。

(3) 官公庁・公共施設等

| | |
|------|---|
| 東新町 | JR 飯田線東新町駅、公民館、新城高校、新城中学校、 しんしろ福社会館、第 1 班消防詰所 |
| 西新町 | 公民館 |
| 本町 | 公民館、新城文化会館、新城税務署、第 2 班消防詰所 |
| 入船 | 公民館、新城市役所、新城小学校、新城こども園 |
| 新城中町 | 公民館 |
| 栄町 | JR 飯田線新城駅、公民館、新城まちなみ情報センター、 新城公証役場、第 4 班消防詰所 |
| 橋向 | 公民館、新城市民病院、名古屋法務局新城市局、新城簡易裁判所、橋向 郵便局、第 5 班消防詰所 |
| 的場 | 公民館、城北こども園、新城郵便局、第 3 班消防詰所 |
| 弁天 | 集会所 |

(4) 公園・緑地

| | |
|-----|--------------------------------------|
| 東新町 | 桜淵公園芝生広場、公民館東側公園、ひだまりパーク |
| 本町 | 文化会館はなのき広場、城北東部公園、田町川公園、 雇用促進住宅公園 |
| 弁天 | 県営弁天住宅内公園 |

(5) 神社・仏閣

| | |
|------|------------------|
| 東新町 | 八幡神社、秋葉神社、最勝院 |
| 西新町 | 観音堂 |
| 本町 | 永住寺 |
| 入船 | 大善寺、北辰妙見堂 |
| 新城中町 | 秋葉社 |
| 栄町 | 浄泉寺 |
| 橋向 | 庚申寺 |
| 的場 | 富永神社、宗堅寺、桃牛寺、行者堂 |

(6) 歴史・伝統文化

豊川に沿って三河地方と伊那地方を結ぶ街道が走っているこの地で、天正3年(1575)、織田・徳川連合軍と武田軍が戦った「長篠・設楽原の戦い」が起きました。

この戦いで功績があった長篠城主「奥平貞昌」は、徳川家康の長女「亀姫」をめとり、豊川のほとりに「新城城」を築き移転しました。この築城がまちの出立となり、その後、菅沼氏の陣屋として明治時代まで続きました。



奥平貞昌



亀姫



亀姫の墓

まちの原型は、豊川に沿った新城城から始まり、その周囲に武家屋敷街がつくられ、伊那街道に沿って商人町がつくられ、まちの四方を寺院神社が守るように形成されていきました。

やがて、新城の城下町は、舟運と陸運の結節点として栄え「山湊馬浪」と呼ばれるようになりました。問屋街のまちには小売店、サービス店等が増え「商いのまち」が育まれていきました。



山湊馬浪とうたわれた新城のまちの様子

明治になり、自治体としての郡及び町村がつけられましたが、大正15年(1926)

に郡制度が廃止され、代わって県の行政区分の郡として、新城町に南設楽郡役所が置かれました。

まちには鉄道（飯田線の前身である豊川鉄道、鳳来寺鉄道）が敷かれ、さらに陸運にトラック等が加わることにより、舟運はその役割を終え、山湊の姿も大きく変わっていきました。武家屋敷ゾーンが官庁街となり、伊那街道沿いは商店街として繁栄を誇りました。

昭和初期には、飯田線の全線開通により新城駅周辺は賑わいを増し、高度経済成長とともに中心市街地は発展していきました。



新城駅前



新城のまちなか（栄町）

【出展：写真アルバム 豊川・蒲郡・新城・北設の昭和】

しかし、その後、昭和の後半からの道路整備の進展により、新城駅前周辺は徐々に店舗が減少していくこととなります。

平成に入り、現在では国道151号バイパス沿道に出店が相次ぎ、鉄道による繁栄の時代から自動車中心の町並み形成が進んでいます。

(7) 文化財

(史跡・建造物)

| 名称 | 所在地 | 時期 | 所有者 | 指定年月日 |
|------|-----|-----|------|----------|
| 新城城跡 | 西入船 | 戦国他 | 新城市 | 昭和33.4.1 |
| 芭蕉句碑 | 北畑 | 江戸 | 庚申寺 | 昭和33.4.1 |
| 能舞台 | 宮ノ後 | 江戸 | 富永神社 | 昭和33.4.1 |

(典籍)

| 名称 | 所在地 | 時期 | 所有者 | 指定年月日 |
|----------|-----|----|-----|-----------|
| 太田白雪自筆著書 | 町並 | 江戸 | 個人 | 昭和33.4.1 |
| 船長日記 | 宮ノ前 | 江戸 | 宗堅寺 | 昭和63.8.19 |

(古文書)

| 名称 | 所在地 | 時期 | 所有者 | 指定年月日 |
|--------|-----|----|-----|------------|
| 菅沼家家譜 | 宮ノ前 | 江戸 | 宗堅寺 | 昭和33.4.1 |
| 今川義元証文 | 裏野 | 戦国 | 永住寺 | 昭和51.12.21 |

(周刻)

| 名称 | 所在地 | 時期 | 所有者 | 指定年月日 |
|-------|-----|----|-----|----------|
| 石造庚申碑 | 北畑 | 江戸 | 庚申寺 | 昭和33.4.1 |

(工芸品)

| 名称 | 所在地 | 時期 | 所有者 | 指定年月日 |
|--------|-----|----|-------|----------|
| 能装束・能面 | 町並 | 江戸 | 新城能楽社 | 昭和33.4.1 |
| 鉄砲 | 宮ノ前 | 戦国 | 宗堅寺 | 昭和33.5.9 |

(無形文化財)

| 名称 | 所在地 | 所有者 | 指定年月日 |
|------|-----|---------|-----------|
| 祭礼能 | 本町 | 新城能楽社 | 昭和33.4.1 |
| 立物花火 | 東新町 | 立物花火保存会 | 昭和36.1.31 |

2 地域課題の抽出

(1) 「しんしろ大茶話会 2014」

日 時：平成26年11月16日（日）PM1：00～4：00

場 所：新城文化会館 展示室

参加者：40名

テーマ：新城中部の明るい未来をつくるために



しんしろ大茶話会 2014の様子

「しんしろ大茶話会 2014」の流れ

参加者を A～I の9グループに分け、以下の流れでグループワークを行いました。

第1ステージ：テーマ『10年後の新城中部をどんなまちにしたい？』

新城中部地区が20年後も明るい未来であるためには、10年後までに新城中部地区のまちづくりをどのように進めていくべきかを考える。

第2ステージ：テーマ『未来のために3年後の新城中部を考える！』

第1ステージでまとめた新城中部をめざし、3年後までに何をしておくべきかを考える。

第3ステージ：テーマ『未来のために“今”取り組むべきこと！』

第2ステージでまとめたことを実現するための「課題」を抽出する。

抽出した「課題」を解決するために“今”何をすべきか（誰が、何を）を考える。

グループでアイデアを共有し、意見を出し合って実現可能性を高める。

グループ発表

作成した模造紙を使い、グループごとに前に出て発表。

(2) 「しんしろ大茶話会 2016」

日 時：平成28年10月30日（日）AM9：30～11：30

場 所：新城小学校 体育館

参加者：52名

テーマ：新城地域自治区の未来に残したいもの



しんしろ大茶話会 2016の様子

「しんしろ大茶話会 2016」の流れ

◆第1部 情報共有「地域の現状を知る。」

地域活動の取り組み事例の発表

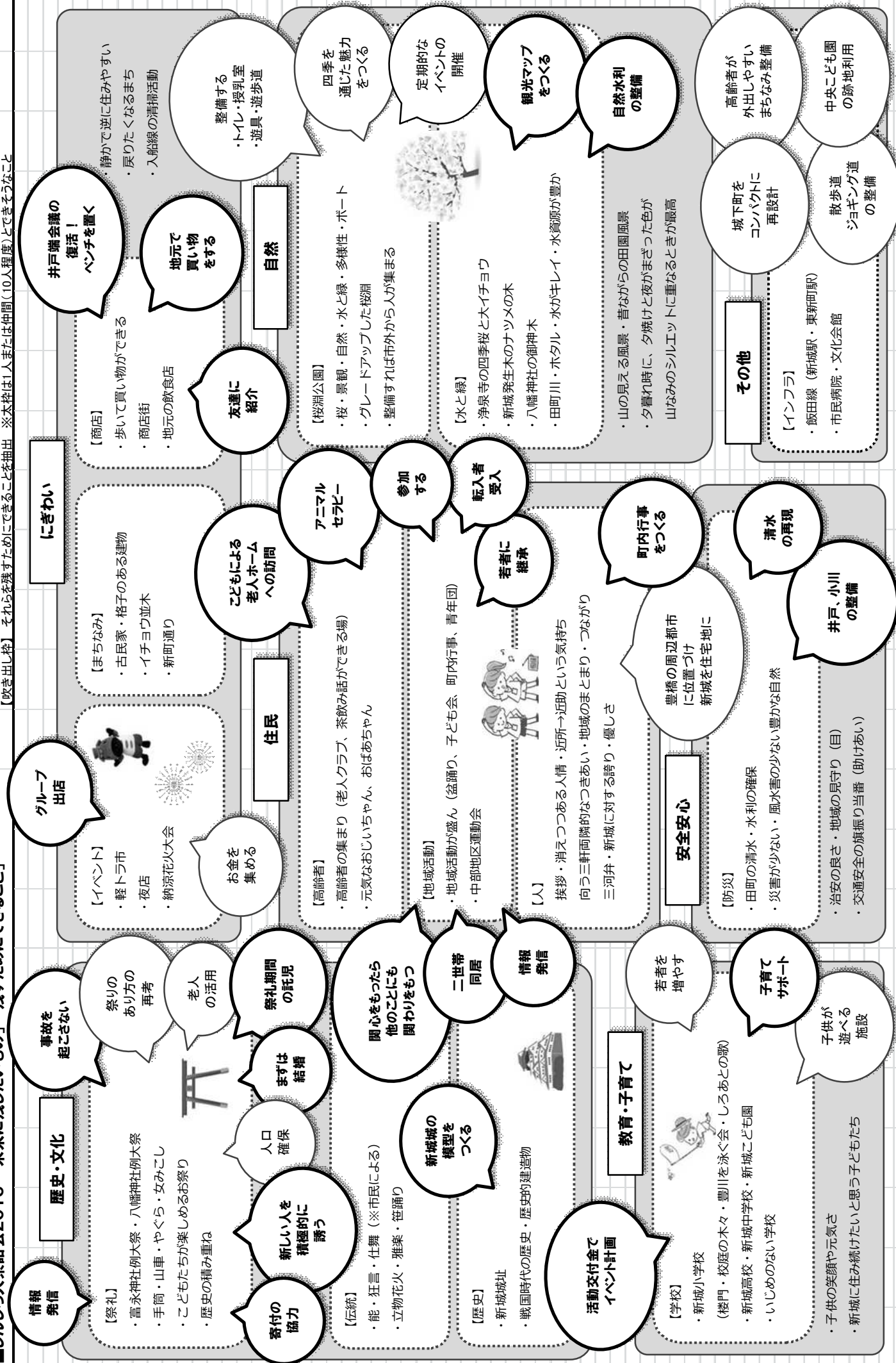
- ・中央こども園保護者会（テーマ：地域交流）
- ・入船区自主防災会（テーマ：防災）
- ・しんしろ城下町の会（テーマ：地域活性化）

◆第2部 意見交換「地域の未来を考える。」

グループワーク

- ・未来に残したい地域の自慢や魅力
- ・それらを残すためにできること（1人で・10人で・6800人で・48000人で）

■しんしろ大茶話会2016「未来に残したいもの」「残すためにできること」



情報発信

【祭礼】
 ・富永神社例大祭・八幡神社例大祭
 ・手筒・山車・やぐら・女みこし
 ・子どもたちが楽しめるお祭り
 ・歴史の積み重ね

歴史・文化

事故を起こさない
 祭りのあり方の再考
 老人の活用
 祭礼期間の託児
 まずは結婚
 人口確保
 新しい人を積極的に誘う
 寄付の協力
 【伝統】
 ・能・狂言・仕舞（※市民による）
 ・立物花火・雅楽・箆踊り

グループ 出店

【イベント】
 ・軽トラ市
 ・夜店
 ・納涼花火大会

にぎわい

【まちなみ】
 ・古民家・格子のある建物
 ・イチヨウ並木
 ・新町通り

住民

お金を集める
 【高齢者】
 ・高齢者の集まり（老人クラブ、茶飲み話ができる場）
 ・元気なおじいちゃん、おばあちゃん

自然

【桜淵公園】
 ・桜・景観・自然・水と緑・多様性・ポイント
 ・グレードアップした桜淵
 ・整備すれば市外から人が集まる

教育・子育て

活動交付金でイベント計画
 【学校】
 ・新城小学校
 （楼門・校庭の木々・豊川を泳ぐ会・しろあとの歌）
 ・新城高校・新城中学校・新城子ども園
 ・いじめのない学校
 ・子供の笑顔や元氣さ
 ・新城に住み続けたいと思う子どもたち

安全安心

若者を増やす
 子育てサポート
 【防災】
 ・田町の清水・水利の確保
 ・災害が少ない・風水害の少ない豊かな自然
 豊橋の周辺都市に位置づけ 新城を住宅地に
 治安の良さ・地域の見守り（目）
 交通安全の旗振り当番（助けあい）

町内行事をつくる

町内行事をつくる
 若者に継承
 参加する
 転入者受入
 【人】
 挨拶・消えつつある人情・近所→近助という気持ち
 向う三軒両隣のなつきあい・地域のまとまり・つながり
 三河弁・新城に対する誇り・優しさ

その他

【インフラ】
 ・飯田線（新城駅・東新町駅）
 ・市民病院・文化会館
 城下町をコンパクトに再設計
 散歩道
 ジョギング道の整備
 高齢者が外出しやすい
 まちなみ整備
 中央子ども園の跡地利用

【四角枠】新城自治区内にある未来に残していきたい魅力や自慢を抽出
 【吹き出し枠】それらを残すためにできることを抽出 ※本枠は1人または仲間（10人程度）とできそうなおこと

(3) しんしろ茶話会2016 (防災)

日 時：平成28年12月4日(日) PM1:30～

場 所：新城市勤労青少年ホーム2階 軽運動場

参加者：39名



しんしろ茶話会2016 (防災) の流れ

1 情報共有

新城地域協議会のこれまでの取り組み

- ・「視察研修」

宮城県南三陸町・京都市東山区・長野県白馬村

- ・「防災資機材の整備」

2 意見交換

各行政区(自主防災会)での取り組みにおける課題

3 現地見学

指定避難所(新城小学校)へ移動

- ・防災倉庫(平成28年度新城地域自治区予算事業)

- ・非常用電源(平成27年度市有施設の屋根貸しによる太陽光発電事業)



取り組み

【共助】

- ・防災訓練（避難・初期消火・テント組立・応急処置・炊き出し（ほか））
- ・各種訓練（AED・水出し・地震体験・炊き出し（ほか））
- ・点検整備（消火栓・消火器・危険箇所ほか）
- ・防災広報（毎月各戸配布・防災マップ作成・入船区）
- ・防災会議（毎月開催・入船区）

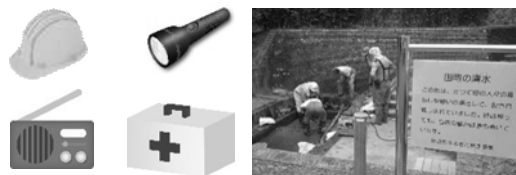


【自助】

- ・家族一人ずつにヘルメットを準備
- ・家具の下敷きにならないように注意
- ・井戸の水を災害時に使えるように準備
- ・食料の備蓄、水分の確保、薬の用意
- ・電池式火災警報器、屋外に消火器設を置

【公助】

- ・自治区予算にて防災資機材を整備
- ・自治区予算にて田町の清水を整備



課題

【防災訓練】

- ・参加者が区民の10%以下
- ・高齢化。若者の参加が少ない
- ・参加者をどうしたら増やせるか？
- ・マンネリ化。新しいものが必要
- ・見直し（内容・回数・時間）
- ・区民への周知方法。回覧を読まない。

【情報】

- ・地震規模、被害想定 of 把握
- ・要援護者情報の把握
- ・消火栓等水源の位置の把握

【コミュニティ】

- ・アパートの住人が分からない
- ・各戸の日常の人員の把握
- ・隣近所のコミュニケーションの場づくり
- ・向三軒両隣の共助

【スキル・マニュアル】

- ・防災資機材の取扱い研修・点検
- ・非常時の行動パターンの作成
- ・防災リーダーの育成、消防団員の確保

【インフラ】

- ・道路が狭く、行き止まりが多い
- ・一時避難先がない。避難先が危ない。

(4) しんしろ茶話会2016 (子育て)

日 時：平成29年2月25日 (日) AM9:30~11:30

場 所：新城文化会館301会議室

参加者：25名



1. 平成28年度地域活動交付金事業成果報告会

・中央こども園保護者会



・新城こども園保護者会



・城北こども園保護者会



2. 座談会

・子育てについて思うこと

・発表

【保育士・こども園など】

- ・保育料がすごく安い。ありがたい
- ・小学校やこども園が開放されている
- ・園庭が広い（新城こども園）
- ・新しい園舎がきれい（城北こども園）
支援センターでいろいろな情報が得られる
- ・給食がおいしい（地元の食材、手づくり）
- ・リトミックで集中力、団結力が向上している
- ・英語教室をやっている（新城こども園）
- ・活動交付金が3園の交流につながった
- ・（保護者対象の）茶話会をどんどん行って欲しい
- ・こども園のスタッフを増やして欲しい
- ・男性保育士が少ない
（男の人がいると雰囲気が変わる）
（男の子っぽい遊びができる）
- ・療育ができる園、保育士が増えて欲しい
- ・一時保育が不便（持ち物、場所）
- ・制服、体操服が高い
- ・2園を行き来する手段が欲しい（バス等）



(改善提案)

- ・保育士の資格がなくても、こどもを見れる方を！
- ・こども園のスタッフとして、卒園した子の母親達働く場所にしてもよいのでは？
- ・（保育士だけでなく）ボランティアやお手伝いしてくれる人を増やしても良いのでは？
- ・（育休中の）有資格者が現場に戻りやすいように勉強会、研修会があると良い

【公園・公共施設など】



- ・小さい公園が多い。整備されている
- ・病院の待ち時間が少なくていい



- ・公園を増やして欲しい（近くにない）
- ・ちょっとした室内遊び場、スペースがない
- ・図書館が子連れで行きづらい
- ・各地区に児童館が欲しい
- ・市民病院の小児科 入院対応して欲しい
- ・言語訓練士を増やして欲しい
- ・プールがない。川でも泳げない
- ・ガードレールが欲しいところがある



- ・スーパー内に遊び場をつくる
- ・商店街の店舗を貸して何かする
- ・オートキャンプ場をつくる

【住環境など】



- ・祭りがアツい
- ・自然が豊か
- ・野菜が安い。おいしい
- ・あいさつができる
- ・地域の目がある。子どもを叱ってくれる
- ・エコなまち（夜が静か）



- ・外からの人間には祭りがツライ
- ・（祭礼の）行事の情報が手に入れにくい
- ・習い事の選択肢が少ない
- ・高齢者の運転マナーが怖い
- ・歩きスマホ（若者）
- ・土地が安くない



- ・こども園や公民館で何か習い事を行う

(5) しんしろ茶話会2017 (子育て)

日 時：平成30年3月16日 (金) AM10:00～12:00

場 所：新城文化会館302会議室

参加者：19名

■第1部：活動報告(平成29年度地域活動交付金事業)



【新城こども園保護者会】 移動動物園・人形劇

未就園児の保護者や他園の子どもたちにも、新城こども園の魅力を知ってもらいたいと、広い園庭を利用して移動動物園を開催。小動物の心臓音を聞くなど命とのふれあいを通じ、心の成長につながった。また、人形劇赤ずきんちゃんの鑑賞と合わせて、未就園児親子に園内の様子を知ってもらうため、スタンプラリーを開催した。人形劇にちなんで、紙コップ等のパーツを組み合わせて赤ずきんちゃんなどの人形を完成させた。入園前に園内の施設の様子や色々なお母さんと知り合うことができ、安心してこども園に入ってもらえるきっかけづくりとなった。



【城北こども園保護者会】 城北まつり・食育講座・みんなで子育て座談会ほか

春から同じ小学校に通う他園の子どもたちとの交流や、育児相談できる関係をつくるための保護者同士の交流や地域との交流などを目的に、5つの事業を開催。城北まつりや子育て座談会は地域に認知されてきており、未就園児の保護者からも期待の声が寄せられている。今回のテーマは、城北こども園の保護者が中心となり、地域を通じて母親の子育ての孤立化防止を図るため、子供も大人も笑顔になるイベントを企画した。みんなで子育て座談会では、父親も参加し、共に子育てを学ぶことができた。今後も保護者会を主体として子育て支援につながる地域自治活動を継承していきたい。

■第2部:グループワーク（これまでの茶話会で出た課題や意見をもとに、できそうなことを提案する）

これまでの茶話会等に出てきた課題や意見のまとめ

子育て支援

- 遊ぶ場 : 子どもたちが遊ぶ場が少なくなっている
- 学ぶ場 : 学習塾以外で、習い事を選択肢が少ない
- 交流する場 : 子どもたちが交流する場や、子育てに悩む保護者が交流する場が少ない
- 守る場 : 子どもたちを犯罪や交通事故から守る

この他、これまでの茶話会でいただいたご意見等を保護者会の皆さんにご覧いただいた上で、課題解決策をグループワークで出しました。更にその課題解決策の中でも1つか2つ実現可能と考えられるものを選んで、全4グループから発表をしていただきました。



グループワークの発表内容（提案概要）

●提案① 学ぶ場・遊ぶ場づくり

地域のおじいちゃんから将棋などを教えてもらったり、おばあちゃんから編み物やお手玉を教えてもらえるような場づくり。子どもたちも成長でき、おじいちゃんおばあちゃんも子どもたちから活力をもらえる。また、子どもたちが安心して集い遊べる場として、駄菓子屋を提案する。場所を考えると、駐輪場・駐車場を備え地域の中心でもある、文化会館でこういった学ぶ場・遊ぶ場が実現可能ではないか。また、子どもたちだけで安心して文房具を買いに行ける場も併設できればいいと思う。

●提案② 守る場・学ぶ場づくり

地域のおじいちゃんおばあちゃんによる、子どもたちの登下校の見守りを提案する。交通立番まではいかなくても、子どもたちの登下校の時間に合わせて、家の前に立って見守ってくれるだけでもいいと思うし、それだけでも大きな効果があると思う。そういった活動をしていただけると嬉しいなと思う。また小学校の学童の時間になったら、地域のおじいちゃんおばあちゃんから将棋や生け花などを教えていただけるような場があると、子どもたちの教育とお年寄りの活力にもつながるのではないかな。毎日ではなくてもいいので、定期的にそういった日を設けていけるといいと思う。

●提案③ 守る場づくり

子どもたちやお年寄りに交通マナーを教える場が必要と思う。自転車でまちなかの道を通ると危険と感じている。また、産婦人科がないので、新城に今後も住み続けるお母さんが出産する場合の補助制度ができるといい。

●提案④ 守る場づくり

新城子ども園、城北子ども園周辺の通園路が狭く、危険なので、なんらかの安全対策措置がとれないか。保護者会でも、そういった危険箇所の注意喚起を実施している。

3 地域課題の整理

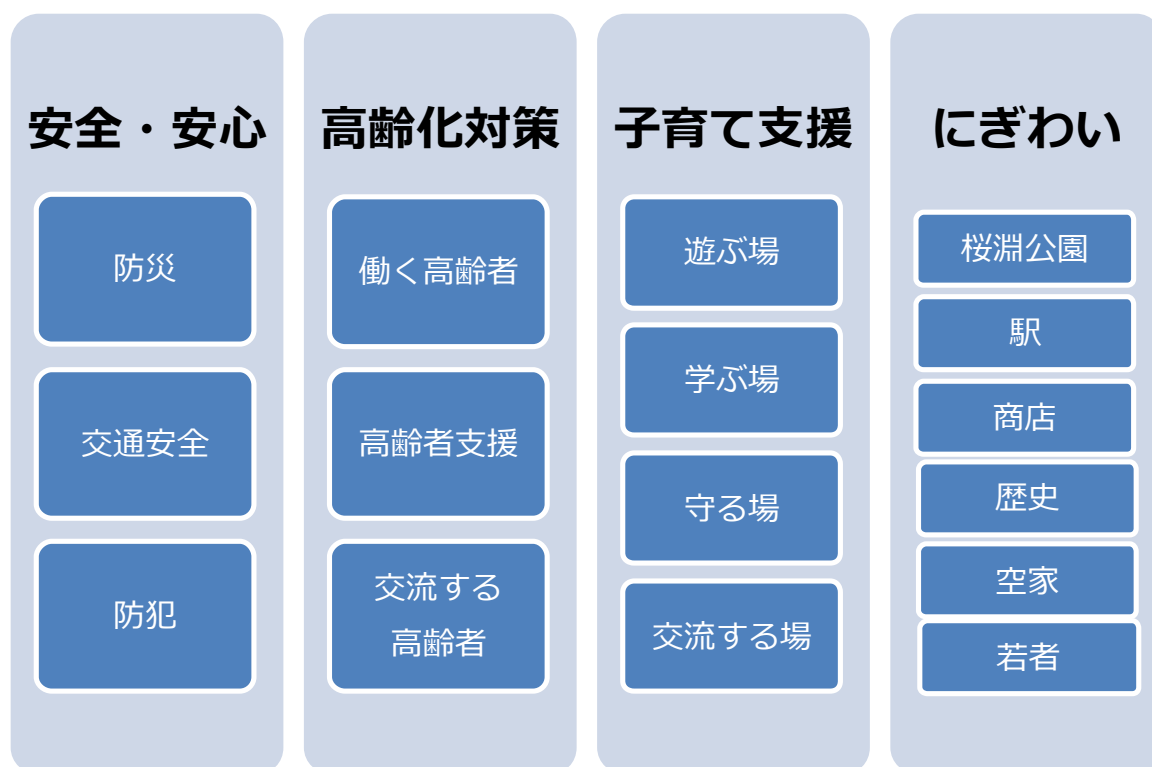
(1) 地域計画の4つの柱

これまで新城地域自治区で開催された茶話会やアンケート等で見えてきた地域課題は似かよった内容のものが多く、更に茶話会等を開催して課題を出していただいたとしても、同じような内容の課題が出るのが予想されます。

このため、これからの地域計画策定作業は、今まで茶話会等に出てきた課題を整理し、その課題を掘り下げ、その課題解決策を計画とすることとしました。

また、これまでに出てきた意見や課題を集約・整理すると、「安全・安心」、「高齢化対策」、「子育て支援」、「にぎわい」という4つのカテゴリーに分類されることが分かりました。新城地域協議会で検討した結果、この4つのカテゴリーを地域計画の柱として、策定することとなりました。

(2) 4つの柱とサブカテゴリー



上の図のとおり、地域課題の4つの柱それぞれで多かった意見、キーワードなどをまとめ、サブカテゴリーとしました。なお、計画づくりは、既にそれぞれの課題を解決するために活動していただいている地域の活動団体と新城地域協議会の委員が一緒になって課題解決策を検討する方針としました。

(3) 地域課題の整理



| サブカテゴリー | 整理した課題 |
|---------|----------------------------|
| 防災 | 避難所の設営、運営の訓練を行ったことがない |
| | 防災訓練に若者や子ども（小中学生）が参加できていない |
| | 防災訓練が8月末の暑い時期の開催のため、変更したい |
| | 防災資機材の取扱い |
| | 防災リーダーの育成、消防団員の確保 |
| | 一時避難場所、指定緊急避難場所、指定避難所の周知 |
| | 消防水利（防火水槽・消火栓）の位置の把握 |
| | 危険箇所の把握 |
| | 被災時の避難行動（被災時間帯に応じた避難行動） |
| | 要援護者の把握 |
| 交通安全 | 子どもやお年寄りが安全に歩けるように |
| 防犯 | 夜暗くて危険な道がある |



| サブカテゴリー | 整理した課題 |
|-----------|----------------------------|
| 働く 高齢者 | 高齢者は元気な方が多いが、その力が活かしきれていない |
| | 高齢者の働ける場所の創出 |
| | 高齢者が社会参加できる仕組み（特に男性の外出促進） |
| 高齢者支援 | 高齢者に優しいまち |
| 交流する高齢者 | ミニデイやコミュニティのようなおしゃべりする場 |

子育て支援

| サブカテゴリー | 整理した課題 |
|---------|---------------------|
| 遊ぶ場 | こどもたちが遊べる場所を増やす |
| 学ぶ場 | 習い事の実選択肢が少ない |
| 交流する場 | 子育てに不安を抱える保護者の交流 |
| 守る場 | 問題を抱える家庭の相談の場 |
| | 子どもたちが不審者に遭遇した場合の対処 |

賑わい

| サブカテゴリー | 整理した課題 |
|---------|--------------------------|
| 桜淵公園 | 桜淵公園の観光整備 |
| 駅 | 新城駅、東新町駅で観光案内できていない |
| | 歴史資源、観光資源をまとめたパンフレット等がない |
| 商店 | まちなかで食事できるお店が減っている |
| | 商店も減ってきている |
| | いい居酒屋等がたくさんあるが、お客が少ない |
| 歴史 | 新城城がどこにあったか案内する看板がない |
| | 古い城下の町並みも建替えが進み、昔の面影がない |
| | 在住者だけで祭礼を継続していくことが困難 |
| | 伝統文化の継承（能・狂言等） |
| 空き家 | 空き家、空き店舗の有効利用 |
| 若者 | 若者が活躍できるまち |

第三部 計画

－ 地域の将来像 －



新城地域自治区という名称は、新城市全体のことと勘違いをされることが多く、その都度、新城小学校区のことだと説明をしています。このため、地域計画も新城市全体の計画であるという誤解が生じてはいけませんので、代替の言葉を探しました。

この地域を表す言葉を考える中で、新城地域自治区予算事業として、平成29年度に初めて開催した「しんしろまちなか映画祭2018」のネーミングが報道等とともに浸透してきています。そこで、新城地域自治区を指す言葉として、「しんしろまちなか」を選定しました。また、「しんしろまちなか映画祭」が今後とも継続し、映画祭を核として、「にぎわい」などへの発展を期待する意味も込めています。

Alwaysを日本語にすると「いつでも」「いつまでも」という意味になります。この地域でいつでも、いつまでも、集える仲間と笑いながら楽しめる日々を送り、それを後世に伝えていきたいという思いを込めたネーミングとなっています。

1 安全・安心

(1) 防災（現状）

1 防災訓練の現状

現状として、各行政区の自主防災会では、毎年防災訓練を行っていますが、訓練内容がほぼ同じで、実際に発災した場合の対応に不安があるという意見が出ています。しかし、一方では、同じ内容で訓練し続けることが重要だという意見もあります。また真夏に訓練を実施しているため、熱中症で倒れた事例や、訓練に若者や子どもが参加できていないことも課題です。

かつてのような「向こう三軒両隣」のご近所付き合いがなくなりつつあり、被災した家屋の家族構成が分からず、救援に支障が出る事態も考えられます。地域内では高齢世帯が多くなってきており、災害時要援護者の救援も重要となりますが、個人情報保護の観点から、その情報を知ることができるのは、ごく一部です。

また、各区の自主防災会には、防災専門員がいますが、必ずしも専門知識を持った方がやっているわけではないため、課題があることは分かっても、どうすればいいかわからないという状況もあります。

2 防災資機材の現状

現状として、各行政区それぞれの防災倉庫に防災資機材等を備えています。しかし、実際に発災した場合には、避難指定緊急避難場所へ避難し、その後指定避難所へ避難する流れとなります。このため、被災家屋への救援基地となるであろう指定避難所での備えが必要ではないかという意見が出てきており、平成 28 年度に新城小学校に各区合同の防災倉庫を整備しました。また、地域自治区予算により、防災資機材も充実してきていますが、その取扱い方法を周知していくことが重要であると考えられます。

3 消防団の現状

現状として、各区それぞれで若者が減ってきており、更に地域への愛着や関心が薄れてきていることなどから、消防団への加入者が少なくなっています。消防団OBに地域支援団員として消防団に加入してもらい、なんとか維持できているという班もあります。また会社勤めの消防団員が増加し、消防団活動が希薄化してきています。このため、消防団員全員が消火栓や防火水槽といった水利の位置を把握しきれないこと、すぐに参集できないこと等、火災の初動対応に不安が残ります。

(2) 交通安全（現状）

こどもたちやお年寄りを交通事故から守るため、歩道の無い通学路等にカラー舗装を実施しています。しかし、経年劣化によりカラー舗装が消えている箇所や、未整備となっている通学路もあります。また、交通安全のためには、カラー舗装以外での対応を要する通学路もあると考えられます。その他、各行政区では交通立番を定期的実施して、こどもたちの安全確保に努めています。

(3) 防犯（現状）

地域内において、不審者情報が多くなっています。実際に被害にあったこどもたちもいます。各区では、そういった被害をなくすため、地域安全灯を整備し、防犯カメラの設置も検討している状況です。また、徒歩による地域安全パトロールを各区で実施し、防犯に努めています。

(4) 安全・安心【計画】

| 年 度 | 実 施 内 容 |
|-------|--|
| H 2 9 | 「防災士」の資格取得者助成制度 「防災を考える会」（各区自主防災会の連絡会）の運営 各区の地域安全パトロール・交通立番の継続実施 |
| H 3 0 | 防災マップの作成（水利箇所・危険箇所等） 地区防災計画の策定（地域計画【実施計画】の策定） 新中防災フェスタと地域の防災訓練の同時開催の検討 |
| H 3 1 | マップに基づく水利等の案内看板の設置を検討 避難計画の策定（各行政区＋防災を考える会） 災害時要援護者の把握（避難計画の中で考える） 防災資機材の適正配置 |
| H 3 2 | 防災資機材の適正配置 避難計画に基づく訓練の検討 |

2 高齢化対策

(1) 高齢者の現状

地域では、お年寄りが増加していますが、元気な方が多く、その力を活かした地域づくりが求められています。また、一方ではお年寄りの一人暮らしやお年寄り夫婦のみで生活する世帯が増加しています。一般的にお年寄りのみの世帯は、閉じこもりがちになりやすく、将来的に認知症発症リスクの増加や日常生活の助け合いの喪失等が懸念されます。既に各行政区においてはこの課題に対し、公民館活動やミニデイなどを実施しているところですが、現場の民生委員さんたちの声から高齢男性のコミュニティ活動への参加率が低いことがわかりました。

その他、昔のような近所付き合いがなくなってきたため、お年寄りが日常生活を送る上で、ちょっとした困りごとが出てきています。例えば資源回収へ行くにも、重いものを持ってない、歩いていくことができないことなどが挙げられます。

(2) 高齢化対策【計画】

| 年 度 | 実 施 内 容 |
|-------|--|
| H 2 9 | 「高齢者日常生活支援事業」の実施（資源回収・買い物代行） 「高齢男性外出促進事業」（しんしろまちなか映画祭の開催） |
| H 3 0 | 高齢者日常生活支援サービスを浸透させる 高齢者日常生活支援サービスの追加を検討する 映画祭を「にぎわい」への展開を検討する 地域計画【実施計画】の策定 |
| H 3 1 | 高齢者日常生活支援サービスの周知 高齢者日常生活支援サービスのメニューの追加 映画祭を「にぎわい」につなげる関連企画を実施する |
| H 3 2 | 高齢者日常生活支援サービスの周知 映画祭を「にぎわい」につなげる関連企画を実施する |

3 子育て支援

(1) 地域のこどもたち（現状）

この地域においても少子化が進んでいます。しかし、こどもたちへの投資は、地域の未来への投資にもつながります。昔のように外で元気に遊ぶこども達の声が聞こえなくなってきています。最近では危険な遊具は撤去され、こどもたちには危険な場所で遊ばせない。そういった声に後押しされ、こどもたちの遊ぶ場所が減ってきています。また、こどもたちの将来を思い、習い事をさせるために遠くまで車で送り迎えをする家庭もあります。

その他、ご近所付き合いが希薄化していく中で、気軽に子育てに関する悩みなどを相談できる場がなくなっていることも課題です。また、家庭に問題を抱え、それを相談する場が必要だという意見もあります。

最近では不審者情報も多く、実際に被害にあった子もいます。こどもたちが安心して登下校できるするにはどうしたらいいのでしょうか。

(2) 子育て支援【計画】

| 年 度 | 実 施 内 容 |
|-------|---|
| H 2 9 | 地域自治区予算による教育環境、保育環境の整備等 こどもたちのためのイベント等の開催 子育て中のお母さんを対象とした茶話会を開催 |
| H 3 0 | 地域計画策定のためのアンケートの実施 地域計画（実施計画）の策定 |
| H 3 1 | 公園マップの作成検討 昔の遊び教室の開催の検討 保護者の情報共有のためのネット掲示板開設の検討 既存の団体を結びつけ、集約されたイベントの開催を検討 |
| H 3 2 | 公園マップの作成 昔の遊び教室の開催 保護者の情報共有のためのネット掲示板開設 既存の団体を結びつけ、集約されたイベントの開催 |

4 にぎわい

(1) まちなかの現状

地域には誇るべき観光地・歴史・伝統文化があります。しかし、それを十分にPRできていません。地域にそういった案内看板がないということが課題に挙げられています。私たち自身が、実は地域の歴史などを詳しく知らないこともPR不足の要因の一つです。

また、地域の最大の観光地である桜淵にもっと観光客にきてほしいと願う地域の皆さんの声があります。でも具体的にはどうすればいいのでしょうか。

まちなかの商店が減っていることが課題に挙げられています。商店が減っているのは、まちなかでお買い物をしていない人が多くなっている結果の表れであるとも思えますが、それでもやはりお店がなくなるのは寂しいです。反対に地域では空き家が増えています。空き家の有効利用と簡単に言っても、あくまで個人の財産であるため、中々地域だけで対応することが難しいのが実情です

その他、若者が減ってきているからか、仕事に追われているからか、地域で活躍する若者が少なくなっています。

(2) にぎわい【計画】

| 年 度 | 実 施 内 容 |
|-------|---|
| H 2 9 | 「高齢男性外出促進事業」(しんしろまちなか映画祭の開催) |
| H 3 0 | 映画祭をにぎわいにつなげるための関連企画を検討する 地域の歴史等を把握するため、マップと動画を作成する |
| H 3 1 | 映画祭をにぎわいにつなげる関連企画等を実施 マップをもとに案内看板の設置を検討 マップを利用したまち歩きイベントの開催の検討 マップの散策コースの検討と整備の検討 しんしろまちなか散策ガイドの養成の検討 |
| H 3 2 | マップをもとに案内看板の設置 マップを利用したまち歩きイベントの開催 しんしろまちなか散策ガイドの養成講座の開催 |

防災

継続事業

いつ? 2017年度から
誰が? 防災を考える会
何を?

- ・地区防災計画の策定 (2018~)
- ・防災マップの作成 (2018~)
- ・防災士の資格取得助成制度 (2017~)
- ・防災を考える会の開催 (2017~)



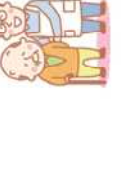
何を?
・避難計画の策定 (2019~)
・防災案内看板設置の検討 (2019~)
・防災資機材の適正配置 (2019~2020)
・避難計画に基づく訓練の検討 (2020~)

※防災を考える会
しんしろ地域自治体の自主防
災会長、防災専門員、防災士
などから構成される組織

新規事業

いつ? 2019年度から
誰が? 各区の自主防災会+
防災を考える会

- ・避難計画の策定 (2019~)
- ・防災案内看板設置の検討 (2019~)
- ・防災資機材の適正配置 (2019~2020)
- ・避難計画に基づく訓練の検討 (2020~)



高齢者支援

継続事業

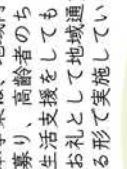
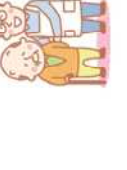
いつ? 2017年度から
誰が? ビンコロロの会
何を? 75歳以上の独居または
高齢者世帯の...

- ・資源回収の代行 (2017~)
 - ・買い物の代行 (2017~)
- 本事業は、地域内で支援者を募り、高齢者のちよっとした生活支援をしてもらい、そのお礼として地域通貨を受け取る形で実施しています。



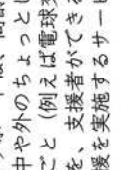
いつ? 2019年度から
誰が? 各区の自主防災会+
民生委員さん

- ・資源回収の代行 (2017~)
 - ・買い物の代行 (2017~)
- 本事業は、地域内で支援者を募り、高齢者のちよっとした生活支援をしてもらい、そのお礼として地域通貨を受け取る形で実施しています。



いつ? 2017年度から
誰が? ビンコロロの会
何を? 75歳以上の独居または
高齢者世帯の...

- ・資源回収の代行 (2017~)
 - ・買い物の代行 (2017~)
- 本事業は、地域内で支援者を募り、高齢者のちよっとした生活支援をしてもらい、そのお礼として地域通貨を受け取る形で実施しています。



いつ? 2019年度から
誰が? ビンコロロの会
何を? 75歳以上の独居または
高齢者世帯の...

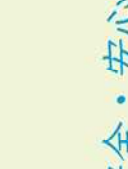
- ・資源回収の代行 (2017~)
 - ・買い物の代行 (2017~)
- 本事業は、地域内で支援者を募り、高齢者のちよっとした生活支援をしてもらい、そのお礼として地域通貨を受け取る形で実施しています。



防犯・交通安全

いつ? 2017年度以前から
誰が? 各行政区
何を?

- ・地域安全灯の整備、LED化 (~2017~)
- ・安全・安心パトロールの実施 (~2017~)
- ・交通立番の実施 (~2017~)
- ・カララ舗装の施工 (~2017~)

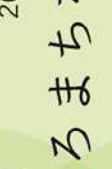
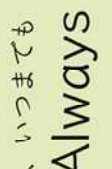


継続事業

守る場

いつ? 2019年度から
誰が? 地域計画分科会 (事業化の検討)
何を?

- ・こども下校時間の見守り (2020~) (ネームプレート・バッジ等をつけて)
- ・こども110番の家のお店版 (2020~) (いつもやまっているお店や床屋さん)

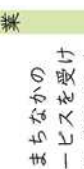
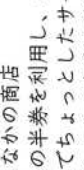
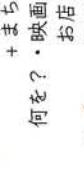
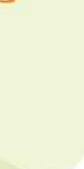
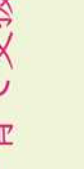


新規事業

遊ぶ場

いつ? 2019年度から
誰が? 地域計画分科会 (事業化の検討)
何を?

- ・しんしろ地域自治区内の公園マップの作成 (2020~)
- ・昔の遊び教室の開催

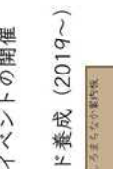
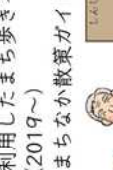
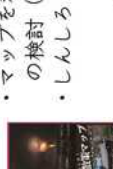
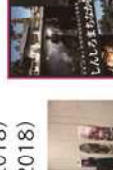
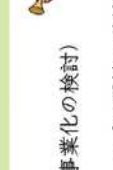
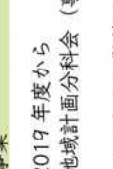


新規事業

学ぶ場

いつ? 2017年度以前から
誰が? こども園保護者会、小中学校PTA
何を?

- ・地域自治区予算による教育環境の整備等 (~2017~)
- ・こどもたちのためのイベント等の開催 (~2017~)



安全・安心

いつでも、いつまでも

Always しんしろ

集える 笑える 楽しめる

子育て支援

しんしろ地域計画

2017-2020

しんしろまちなか

しんしろ地域自治区

にぎわい

高齢化対策

交流する高齢者・働く高齢者

いつ? 2017年度から
誰が? 新城まちなか映画祭実行委員会
何を? 高齢者 (特に男性) の外出誘発事業
・しんしろまちなか映画祭の開催 (2017~)



商店

いつ? 2019年度から
誰が? 新城まちなか映画祭実行委員会
何を? 映画の半券を利用し、まちなかの
+ まちなかの商店
お店でちよっとしたサービスを受け
られるような事業を検討 (2019~)



歴史

いつ? 2018年度から
誰が? しんしろ城下町の会
何を?

- ・マップ関連動画の作成 (2018)
- ・マップ関連企画開催 (2018)



事業完了

いつ? 2019年度から
誰が? 地域計画分科会 (事業化の検討)
何を?

- ・しんしろまちなか散策マップ作成 (2018)
- ・マップ関連動画の作成 (2018)
- ・映画祭の関連企画開催 (2018)



制作

2019年3月

新城地域協議会 地域計画分科会

協力

しんしろ城下町の会

ピンコロの会

新城まちなか映画祭実行委員会

新城こども園保護者会

城北こども園保護者会

新城小学校PTA

新城中学校PTA

茶話会に出席いただいた方々

関わっていただいた地域の皆さま

(順不同、敬称略)

新城市 企画部 新城自治振興事務所

新城市役所 本庁舎3階 自治振興課内

TEL(0536)23-7697